

◎幌延町国民健康保険特別会計の運営状況について

本町の国保税については平成24年、25年度と段階的に改正を実施してきた。特に平成24年度においては、地域の保険税額の水準等を考慮し、なおかつ財政調整基金を活用しながら大幅な負担の増加を回避してきた。

平成25年度の決算見込みは、実質的な単年度収支が約2千80万円の赤字となる見込みだが、財政調整基金と

繰越金で補うことができる。

平成26年度の収支の見込みについては、基金全額を繰り入れても会計を維持していくことが困難な状況になったことから、保険税の改正と併せて町独自の軽減対策として、一般会計からの繰り入れを行う内容の予算編成とした。また、財政調整基金については、今後の会計運営のために枯渇させることなく、全額を留保したいと考えている。

総務文教・産業厚生合同常任委員会

第5次幌延町総合計画についての議会議論

平成26年1月27日

質問 コミュニティ施設の整備に触れているが、集約化と防災機能を併せた施設に建て替えを検討するという

ことで、具体的にはどう考えているのか。
総務課長 今回新たに集約化を検討し、防災機能を併せ持った施設として検討するという文言を加えた。老朽化と防災の観点が必要

かどうか。

総務課長 生活交通対策は告知端末の利用方法も含めて検討していく。

質問 協働の町づくりと言われているが、町政懇談会等の出席者が少ない。この辺の対策も考えて行かなくては、知恵も集まらないのではないのか。

総務課長 総合計画の専門委員からも指摘があった。少し工夫をして、参加しやすいように努力したい。

質問 婦人部だとか老人クラブなどにも出向いて行ったかどうか。
総務課長 検討したい。

質問 深地層研究の推進と関連施設の誘致ということに関連地圏環境研究所との連携を強化すると書いてあるが、具体的なことがあるのか。
総務課長 二酸化炭素を石炭層に入れることによってメタンガスを回収する研究をしている。町としても支援を含めて検討していきたい。

質問 観光について、ホスピタリティ運動の啓発を進めると書いてあるが、その前に内容の充実という方が大

切ではないか。

総務課長 確かにそうだ。トナカイとかサロベツ原野関連など観光の目玉になるものはあるが、通過型観光になっている。町に泊まってもらえるようなことを考えて行きたい。

質問 森林の整備保全に取り組むということ、木質バイオマスというのが入っているが、酪農家の糞尿の大量発生が問題になっている。バイオマス発電を盛り込むべきではないか。
総務課長 自然環境に配慮した持続可能な農業を推進すると書いてあり、循環型農業の推進を考えている。文章表現の仕方考えた

い。
質問 予防接種の受診に関して。アンケートの中で、受診するのに仕事の都合でなかなか受けづらい時間帯だという意見が多い。
総務課長 確かにそうだと思います。考えて行きたい。

質問 高齢者の福祉施設の整備の中で、共生型

グループホームの整備を今まで言ってきたが、今回それが消えている。断念するということなのか。
総務課長 まちなかに高齢者が集うことのできる拠点づくりというのは考えていく。共生型グループホームの取扱いについては、難しいと考えている。

質問 がん検診事業でPETの取り組みは必要だと思いが、検討してもらいたい。
副町長 調査し、医療機関とも話はしている。検診料が今の段階では高いことと、交通費もかかる。



ゲートボール